



# 廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

平成30年  
6月8日  
第1号

新年度が始まり、早くも2ヶ月が過ぎました。今年度の1/6が終わりました。……こう考えると、毎日に追われることが多いのですが、流されずに、目の前の1つ1つの取組を大切にしなければいけないなと思うところです。

さて、市教育委員会では、今年度も学校の魅力あふれる取組や関連情報を掲載した「市教委だより」を発行していきます。今年で4年目になります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 奥 典道教育長より 『みなさんへの3つのお願い』



今日の教育的課題は日々進化しており、教職員の皆さんへの社会的要請や保護者の期待も日々高まっています。

そこで、みなさんへのお願いが3つあります。

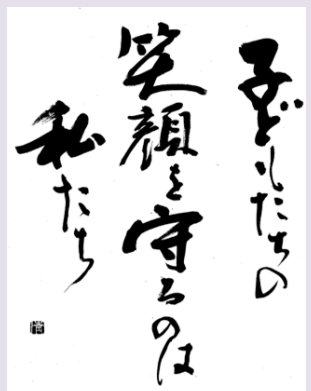
1つ目は、「**チームとしての学校**」を実現していただきたいということです。学校が複雑化・多様化した課題を解決し、子どもに必要な資質や能力を育てていくためには、学校のマネジメントを強化し、組織として教育活動に取り組む体制をつくる必要があります。廿日市では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、特別支援教育士やICT指導員などを配置しています。さらに、部活動指導員の配置に努めることとしています。困難な課題に対して、教職員だけで抱え込まず、専門的なスタッフと一体となって指導体制を構築していただきたいと思います。

2つ目は、廿日市の教育は、時代を見据え、質の高い教育を目指すと同時に、廿日市の先生方には、皆、**子どもを温かく包み込む「人間味」や「人間力」のある人であって欲しい**ということです。子どもたちが安心して学べるように、子どもたちに寄り添う指導を行うことが求められます。そのためには、まず、子どもたちの思いを聴くことが大切です。何より子どもの思いを大事にしようとする、その先生方の温かさが、子どもたちの安心感につながり、また保護者、地域の信頼を得ることになると思います。

3つ目は、**不祥事の防止**についてです。一部の教職員による不祥事は、一瞬にしてこれまで築いてきた信頼を失ってしまいます。

「子どもたちは 私たちの姿を見て 育ちます。」

このことを心に刻み、市民の期待に応える学校教育を共に創造していきましょう。



## 平成30年度プログレス研修（初任者研修）

5月31日（木）に廿日市市役所において、初任者を対象とした研修を行いました。本市の研修対象者は小・中合わせて17名です。

奥教育長をはじめとした学校教育の先輩方から講義を受け、多くのことを学びました。また、初任者同士の交流を行い、自分の悩みを伝えたり、相手の実践を聞いたりして、「明日からも頑張ろう！」と意欲を高めていました。

初任者の先生も頑張っています。それぞれの職場で、経験の浅い先生方を皆で育てていきましょう。



### 〔初任者の感想から〕

- 一番印象に残ったのは、導入でひきつけることです。子どもが身を乗り出して学べるような授業をしたいです。（小学校）
- 気になる児童へのアセスメントを行い、よく観察して特性を理解していきたいです。（小学校）
- 信頼される先生になるために、生徒の良いところを認め、しんどい時に相談にのれるようにしたいです。（中学校）

## 子どもたちが自ら進んで学ぶ教育を進めます！



平成30年度は「学びの変革」全県展開の年です。計画した単元の実践及び改善を行うとともに、授業改善を進めていきましょう。

### 平成30年度に各校ですべきことは？

- すべての先生が「課題発見・解決学習」を「実践」、「検証」、「改善」を行う。
- 1時間の授業を工夫し、日々の授業を変える。
- カリキュラム・マネジメントに関する理論研修を校内研修で行う。

### H30 廿日市市「学びの変革」推進協議会

- 第1回 6月18日(月) 阿品台中学校  
授業者：木下美紀 教諭(社会)
- 第2回 8月3日(金) 大野市民センター  
終日実施予定の教務主任研修と午後から合同で実施します。
- 第3回 2月13日(水) 平良小学校  
授業者：松本淳美 指導教諭(算数)

### 今年度、どうすればよいの？

#### ○すべての先生が「課題発見・解決学習」を改善するために…

- すべての先生が、年間指導計画に位置付けた「課題発見・解決学習」の単元を実践し、市教委が提示する『課題発見・解決学習』振り返りシート(仮)を活用して、校内で組織的に来年度に向けた改善を行う。

#### ○日々の授業を変えるために…

- 昨年度提示した、日頃の授業を見直す5つの視点をもとに、校内で授業研究を行う。
- 子どもの声に耳を傾け、子どもの立場に立った授業づくりを行う。

#### ○カリキュラム・マネジメントに関する理論研修を校内研修で行うために…

- 第1回「学びの変革」推進協議会で、県教委の指導主事による「カリキュラム・マネジメント」についての理論研修を予定している。それを受けて、各校の「学びの変革」推進担当教員が自校で伝達研修を実施する。

## 子どもたちに寄り添い心を育てる教育を進めます！



つなプロ支援プロジェクト  
シンボマーク

子どもたちの「主体的な学び」を充実させるためには、教師主導で行う「安心して学べる学校づくり」(居場所づくり)と、教師が場を提供する「児童生徒の主体的な活動づくり」(絆づくり)が必要です。学校・学年で共通のゴールイメージを持ち、ポイントを押さえて実践しましょう。

### 安心して学べる学校づくり

#### ○「つなプロ」の充実・・・「意図的なかかわり」→自己有用感を育む視点、学級づくりの視点で

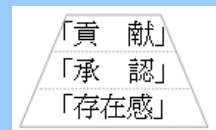
- 存在感(安心できる)を感じる「居場所づくり」(例:きれいな教室環境、挨拶、傾聴姿勢等)
- 承認(認められた)を感じる「絆づくり」(例:一人一役、拍手、肯定的評価等)
- 貢献(役立った)を感じる「絆づくり」(例:異年齢交流、ボランティア等)

#### ○不登校の減少・・・「誰もが行きたくなる学校づくり」→新たな不登校を生まない取組

- 不登校を減らすには、新たな不登校を抑制する「未然防止」の取組が不可欠。
- あらゆる活動で「居場所づくり」+「絆づくり」=「つなプロ」に取り組む。
- 不登校対策に向けたPDCAサイクルによる組織的な取組は、いじめ防止にも効果的。

#### ○アセスの活用・・・「ギャップに着目」→気になる生徒に先手を打つ

- 観察や面談だけでなく、アセスによるより客観的な児童生徒理解に努める。
- 「生活」「教師」「友人」「非侵害」「向社会」「学習」の6つの因子とその相関関係より、児童生徒の悩みや課題に迫る。
- チームで分析、考察し、目標設定と役割分担のある実践へ。



### 児童生徒の主体的な活動づくり

#### ○生徒会サミット・・・「自治」「交流」→自己有用感を持ったリーダーの育成

- 話し合うテーマを生徒から募集(生徒会リーダーによる生徒会のための「課題発見・解決学習」等)
- 児童会へ成果を普及(児童会リーダーと生徒会リーダーによる「異年齢交流」等)

「焦点化(シンプル)」「視覚化(ビジュアル)」「共有化(シェア)」をキーワードに、すべての先生方で、より効果的な実践となるよう取り組んでいきましょう！



## 課題発見・解決学習「40周年を祝う記念誌をつくろう!!」

今年40周年を迎える阿品台東小学校では、校長先生の依頼を受けて、6年生が学校の40周年を祝う記念誌をつくることになりました。そのため、6学年担当の先生方は今年度市制施行30周年を迎えた廿日市市の様々な課と連携を試み、手探りで記念誌作成のための単元開発を行いました。

まさに「課題発見・解決学習」の実践です。

5月24日(木)、6年生の総合的な学習の時間において、経営政策課やシティプロモーション室の職員がゲストティーチャーとして授業に参加し、実際に記念誌を作成した経験などを児童に伝えました。

子ども達は、これからの学習に生かしたいという思いをもって、一生懸命メモをとりながら話を聞いていました。記念誌を作る手順やインタビューのコツ、写真を撮るときに気を付けることなど大切なポイントを学び、自分達がつくる記念誌のイメージをつかめたようでした。

この授業で学んだことをもとに、子ども達が自ら課題を見つけたり必要な情報を集めたりして主体的に学習に取り組んでいくことを期待しています。阿品台東小学校の歴史と魅力が詰まった記念誌が出来上がることを楽しみにしています。

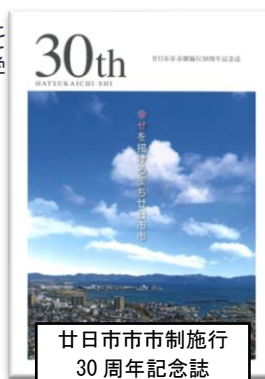
ゲストティーチャーによる授業の様子



学校と市役所による打合せの様子

### 【児童の感想】

- ・「自分だったらどんな写真がうれしいか。」ということを考えて写真をとるとよいことが参考になった。
- ・文章だけでなく写真があると、風景やその場の様子が伝わりやすくなることが分かった。



## つながれ! 広がれ! 「宝の山」



### 「感謝」でつながる挨拶でスタート

阿品台中学校の朝の風景です。

「おはようございます。」

爽やかな挨拶が飛び交う中、生徒がしているある行動が目にとまりました。阿品台中学校の正門前には横断歩道があります。通勤ラッシュの時間帯で車の量も多いのですが、一時停止してくださった地域の方々に対して、渡り終わった後振り返り向いてお辞儀をしていたのです。

ちょっとしたことですが、止まってくださった方への感謝の挨拶からはじまる朝。地域の方と感謝の挨拶でつながる朝。生徒の自己有用感につながる伝統的な取組をこれからも大切にしたいと思います。

人とかかわる上で、その入り口としての挨拶や感謝の気持ちを持たせることはとても大切です。

## 廿深!! 『学びの変革』①

昨年度は、「廿進!」をキーワードとして、廿日市市から「学びの変革」を進め、発信してきました。今年度1年間は、すべての先生が、年間指導計画に位置付けた「課題発見・解決学習」の単元を実践し、検証・改善を進め、「学びの変革」をさらに深めていきたいと思っております。

そこで今年度は、「廿深!!」をキーワードに、先生方自らが「主体的・対話的で、深い学び」をととした研鑽を進めていきましょう。一年間、連載しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 「課題発見・解決学習」の単元計画を見直す視点(例)

- 目標に迫る問いを、児童生徒から引き出せているか。
- 課題解決の見通しを持たせているか。
- 課題解決に向かう必然性のある学習活動となっているか。
- 深い学びを実現するための指導の工夫が行われているか。
- 子どもが深い学びを実現していく姿を具体的にイメージできているか。
- 見方・考え方の高まりや学習の仕方を振り返ったり、それらを活用できる場面を考えたりする「振り返り」の場が設定できているか。

「カリキュラム・マネジメント」の理論研修については、第1回「学びの変革」推進協議会の内容を基に、各校研究主任を中心に進めてください。